

安住寺だより

禪の心

第137号

発行 安住寺（年4回発行）

臨済宗南禅寺派

大分県杵築市大字南杵築379

〒873-0002 TEL 0978-62-2680

URL <http://www/anjyuuji.net/>

編集 矢野明玄

謹賀新年

檀信徒の皆様には、無事に新年を迎えることとお慶び申し上げます。昨年はお陰さまで無事に晋山式を挙行することができました。これまで以上に寺門護持に勤める所存です。倍旧のご支援ご法愛を偏にお願い申し上げます。

平成二十四年 歳旦

代表責任	役員住職	責任役員	責任役員	総代	総代	総代	総代	総代	総代	総代	総代
矢野明玄	矢野明玄	土谷玄徳	綾部昇吉	川上芳彦	平野芳彦	植木文一	清末静男	川野省三	中村文三		



大般若・初観音

一月十七日（火）

十一時より 午後は観音講

お参りの方は十三日までにお知らせ下さい。会費は五百円。般若札は、当日お配りします。古いお札は、寺にお持ち下さい。新年には、新しいお札に取替えますように。



大般若の様子 H20.1.17

「大般若札入」頒布のお知らせ

大般若の札入れを作りました。釘一本で柱に掛けられます。ご希望の方は是非お求め下さい。
頒価＝1千円（原価・1450円の品）数量200個限りです。

年々歳々花相似たり

ねんねんさいさいはなあいに
さいさいねんねんひとおな
歳々年々人同じからず

劉廷芝（唐六五一〜六七九）

去年の正月は、家族、兄弟皆揃い賑やかに新年を祝ったのに、今年は喪中で寂しいお正月を迎えておられる家が少なくない。高齢で悔いのな人生を送られたのなら、ご苦労さん有難うで済むが、今年ばかりは諦めきれない別れが余りにも多すぎた。別れどころか、住む家も無い、仕事も無い、これまで生きてきた証も消えてしまった。更に帰る古里も無くなってしまった。明日からの見通しも立たず、立ち上がるうとしても待つてくれと押さえられる。夢も希望も無い新年を迎えた方達が何百万人もおられる。僅かな支援しかできないでいることが、申し訳ない。ただ祈ることしかできないが、夫々が自分の成すべきことを努めれば、復興の一助になると信じ、今年も夫々の道、勤めで、ガンバリマシヨウ！

寺の賽銭を東日本大震災の義援金として寄付していますが、九月以降の分として二万七千四百六十六円を杵築市を通じて拠出しました。今後ともご理解ご協力をお願いします。

年頭所感

平成二十四年壬辰の新年を迎え、壇信徒各位におかれましては、益々御清福のこととお慶び申し上げます。

昨年は小納の晋山式に際し、ひとかたならぬ護法愛を賜りまして、心より厚くお礼申しあげます。

平成二十三年を振り返りますと、決して忘れられない出来事が起こりました。

三月十一日、東日本を襲ったマグニチュード9・0の地震は巨大津波を生み沿岸部の街を壊滅し、福島第一原発の原発事故を引き起こした。

死者行方不明者は、一万九千五百人を超えた。あまたの別れ、悲しみ、涙、苦しみがあり、今もなお癒えることない日々を過ごしている方もあろう。

新年を迎えた今日、家を失い故郷を追われ、仮設住宅で余儀なく生活する方、放射能による被ばくを避け自主避難をされている方はどのような心境でいら

っしゃるか、察するに余りある。中国は梁の時代の范雲の詩に「別れの詩」がある。

洛陽城の東西に

長く時を経る別れを作せり

昔去るとき雪 花の如くなりし

に

今来たれば花 雪に似たり

三月まだ雪の降る寒い中、故郷を追われ十ヶ月がたとうとしている。

盛岡市の臨済宗系の石雲禅寺・副住職、小原宗鑑師（二十八歳）が震災津波よって荒廃したがれきの中、岩手県宮古市から宮城県石巻市に向け、粉雪の降る中を祈りながら歩かれた写真をご覧になった方もあるだろう。



被災地に降る雪は、花には喩

えられない。身に心にささる厳しい雪であり、この冬も寒さを耐え忍んでいることだろう。しかし「今来たれば花 雪に似たり」復興・再興し一日も早く穏やかに花を愛でて欲しいと多くの国民が願っているはずである。

巨大地震、巨大津波は天災であるが、人災を引き起こした原発問題はどうか、戦後日本は「成長」「発展」「進歩」し豊かな生活を享受してきた。その反面、華美で贅沢で、その上大量消費、大量廃棄、好き放題にしてきたのではないか。

その豊かな生活には当然電力が必要であり、その一部を原子力発電が担ってきたことも事実である。

平成十七年に戦後六十年を迎え、今までの物質性を追求し、個人を重んじ過ぎ、利己主義的傾向が強くなった現代社会を反省しなければというようなことがしきりに叫ばれた。しかし、その後の社会風潮・情勢も大きく変化したようには感じられなかった。

それが三月十一日の震災以来多くの国民の心の中に、物質性を過度に求めてきたことを省み、精神性を如何に大切にしなければならぬかということを、考えさせ心に刻んだ。

なぜなら、大震災が起きて、日本国民は冷静で静かに慌てふためくことなく、被災者たちは避難生活を耐え忍び、自衛隊・消防隊をはじめとする救助の方々は懸命に任務にあたり、多くの方がボランティア活動をし、義援金を送った。

この姿に、忘れていた精神性の大切さ、心を突き動かす何かがあったことは間違いなく、現代社会のありかた、今後の日本復興に必要な精神を示していた。この日本人の姿を多くの海外メディアが賞賛した。

ある作家は「第二の戦後」と表現し、震災・原発事故問題から全く新たな視点で、復興を目指すのではなく、精神性にも重きをおき、不安なく心豊かに生

活でる日本を目指さなければならぬ。

最近よく思い出す言葉がある。「禅は宗教ではない。信仰でもない」と云われていた修行時代の先輩の言葉である。禅は生き方であり、死に方である。最もシンプルで、最も明解で、最も自己の精神性を顕わにする禅。如何にして与えられた心身を、一瞬一瞬輝かせ生きていくかということである。

大震災から十ヶ月が過ぎ、復興までどれだけの年月がかかるかまだ分からない。まして原発事故の終息、原子炉の廃炉作業などを考えれば何十年という歳月を必要とする。「第二の戦後」とも呼べる東日本大震災からの復興がどのように進んでいくのか大切な一年、不安ばかりを抱えていても仕方ありません。被災地からの明るい声が聞こえてくるテレビ、ラジオの報道も沢山あり、被災地・被災者に対しほとんど無力であり、心配と祈りをささげることしかできない私からすれば、心救われ

る思いであります。

今年は辰年です。下手の横好きで人に見せられたものではありませんが、自ら版画を彫って干支の色紙を作成してみました。



扇面には禅語「龍吟ずれば雲起こり、虎嘯けば風生ず」(周易)から「龍吟起雲」と記しました。龍が啼けば雲が湧き立ち、虎がほえれば風が吹き起るような、優れた人物の一手一投足は、素晴らしい働きを持っていることを喩えます。

一人一人がしっかりと地に足を着け、復興に向け明るい未来に向け、活力ある風を起こし前進していけることを願っております。

この平成二十四年が壇信徒の皆様、また被災された方々、日本の人みなで手を取り合って歩んでいける一年になることを願っております。

「道程」 高村光太郎

僕の前に道はない
僕の後ろに道は出来る

ああ、自然よ

父よ

僕を一人立ちにさせた広大な

父よ

僕から目を離さないで守る事をせよ

をせよ

常に父の気魄を僕に充たせよ

この遠い道程のため

この遠い道程のため



明玄 合掌。

坐禅会

今年より月例坐禅会を開催するはこびとなりました。月に二回を予定しております。土曜日の午前六時半(冬期)〜一時間半程度。

初めての方でも、壇信徒以外の方でも、どなたでも自由に参加して頂ければ幸いです。

坐禅が無理な方でも、正坐禅・椅子禅と自分にあつたスタイルでの参加もできます。



【安住寺坐禅会】

毎月第二・四 土曜日

午前六時半から八時

坐禅↓読経↓茶礼

参加費無料

一月は二十一日(土曜日)

午前六時半より

安住寺本堂にて



年回忌							没年
一周年忌	三周年忌	七周年忌	十三周年忌	十七周年忌	二十五周年忌	三十三年忌	
平成二十三年	平成二十二年	平成十八年	平成十二年	平成八年	昭和六十三年	昭和五十五年	昭和三十八年

平成二十四年
年回忌表

年回忌仏事は、故人を偲び、敬い、つなげる「いのち」を再確認する意義深い行事です。兄弟や親戚との絆を深める場に致しましょう。

11月23日 バザー・26日 奉仕作業

合掌会行事の第16回バザーと奉仕作業が実施されました。バザーは、雨模様だったので本堂で実施しました。待ちかねたお客様がどっと押し掛け、目ぼしい品は一時間ほどで無くなりました。また、奉仕作業も23名のお手伝いを頂き、アツと言う間に奇麗になりました。

合掌会行事

どちらもご協力頂き有難うございました。益金の内、45,000円を杵築市の社会福祉協議会へ寄付致しました。今回のバザーでは、閑栖和尚のもくろみで東北支援のため、青森・岩手・宮城・福島各県より産品を取り寄せ販売しました。色々な支援の仕方がありますが、義援金の寄付ではなく物品の消費で支援しました。ささやかな取り組みですが、復興の一助になれば幸いです。



色紙プレゼント

廣石碩田先生より頂戴しました。ご希望の方はお申込み下さい。今回は、今までに当たることが無い方を優先します。

幸せって何だろう

昨年十一月、ご結婚間もないブータン・ワンチュク国王夫妻が来日しました。国会で演説されるなど、沢山の話題を提供されました。特に東日本大震災には心を痛められ、翌日には慰霊の法要を営み、三月十八日には百万ドルの義援金を送られたそうです。

ブータンは『国民の幸福』を重視する国として知られ、教育費や医療費は無料。裕福な国家ではないのですが、金の使い方が違うよ

うです。よい統治、公正な経済、文化遺産の保護と伝統文化の継承・振興、環境保全の四つを国家の指針としているそうです。今日の日本の現状と比較して見る時、何が得られ、どのような状態にあるのが幸福なのかを考えさせられたような気がします。南相馬市を見舞い、金閣寺にも参拝しました。行く先々でのお二方の態度が評判になりました。特に合掌されて相手に微笑みかける姿は、まさに「幸福」のおすそ分けをして頂いたような来訪でした。

都合により変更することもあります

安住寺 一〜四月

行事予定

一月三日	役員年始会
一月六日	独秀流御詠歌
一月十七日	大般若・観音講
一月二十一日	早朝坐禅会
一月二十三日	写経・写仏の会
二月七日	独秀流御詠歌
二月十一日	早朝坐禅会
二月十八日	御詠歌・観音講
二月二十一日	写経・写仏の会
二月二十五日	早朝坐禅会
三月七日	独秀流御詠歌
三月十日	早朝坐禅会
三月十六日	御詠歌・観音講
三月二十一日	写経・写仏の会
三月二十四日	早朝坐禅会